

2. 今後の工事の進め方について

2. 1 正蓮寺川水門から最上流までの工事内容

(1) 今後の工事概要

今後、最下流部（北港大橋下流部）においては、護岸工を行う。また、最上流部及び最下流部（北港大橋上流部）においては、河川ボックス等の整備を行う。さらに、河川内における横断4橋梁のうち、北港新橋と森巣橋の2橋の盛土工事を先行して行う。なお、全体平面図を図2-1に示す。

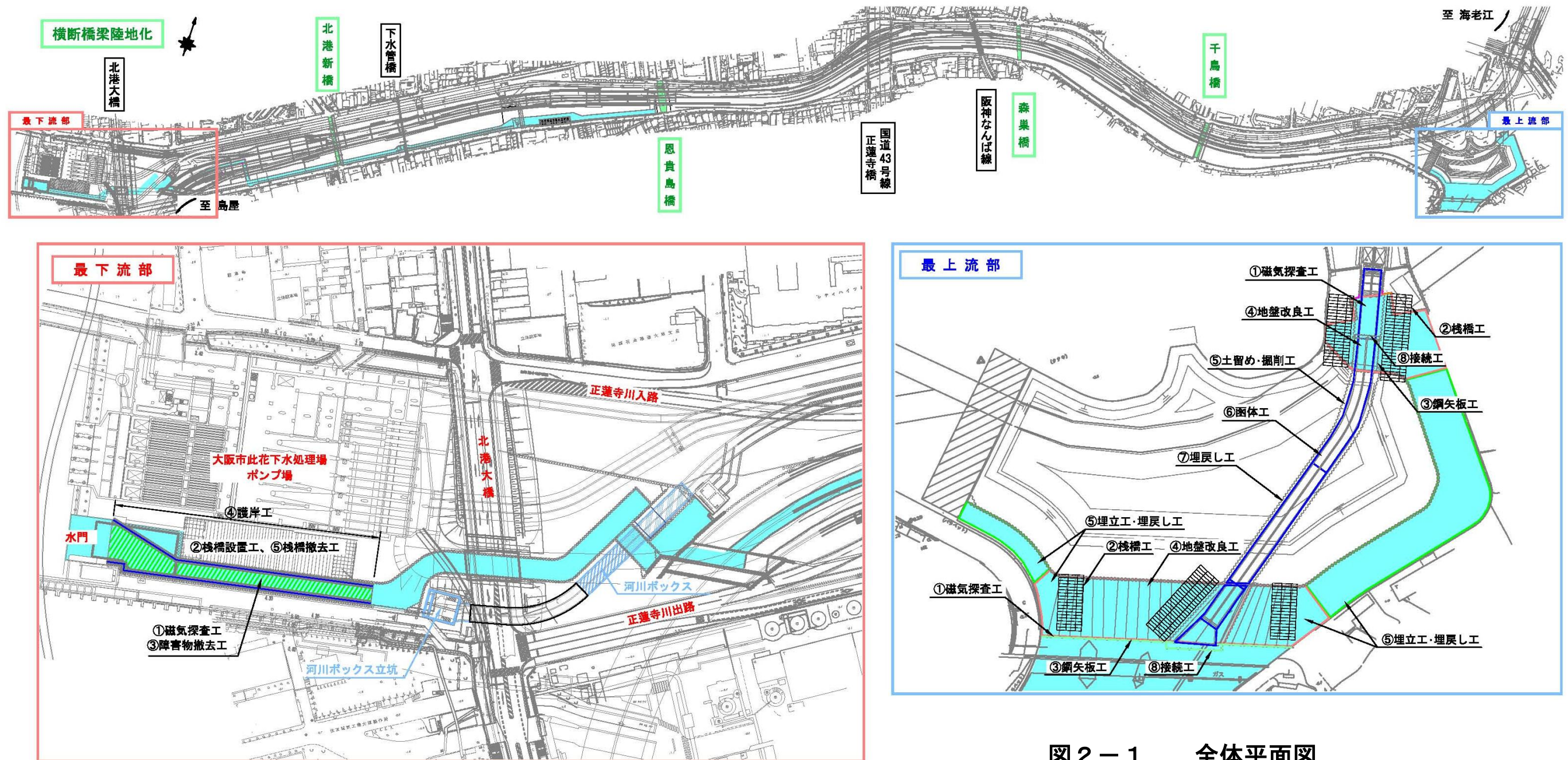


図2-1 全体平面図

(2) 最下流部（北港大橋下流部）における護岸工事について

・磁気探査工、栈橋設置工および障害物撤去工について

最下流部(北港大橋下流部)においては、護岸工に先立ち磁気探査工、栈橋設置工および障害物撤去工を行う。

・底質の拡散防止対策（磁気探査工、栈橋設置工、障害物撤去工）

磁気探査工、栈橋設置工および障害物撤去工にあたっては、これまで同様、作業箇所周りに汚濁防止膜を設置する。その際、汚濁防止膜の下端にウエイトを設置して、水面から河床面までの範囲をカバーするとともに、四方を確実に囲むことで、作業範囲内外を仕切り、底質の拡散を防止する。あわせて、作業範囲全域を囲う汚濁防止膜を設置することにより、二重の底質拡散防止対策とする（第13回環境監視委員会で承認）（図2-4、2-5参照）

・障害物撤去に伴う汚染土の処理について

障害物撤去に伴い発生する底質については、これまでの底質の扱いに従うものとする。
(PCB 汚染対策対象土：封じ込め、その他汚染対策対象土：場内埋め戻し・覆土)

撤去にあたっては狭隘な箇所での作業となるため、汚染土の区分けは困難であることから、底質内に一部でも PCB 汚染底質層を含む場合はケーシング内底質をすべて PCB 汚染底質として扱うこととする。なお、底質層以深の砂層以下の層については、受け入れ先基準を満足することを確認した上、場外処分することとする。（第13回環境監視委員会で承認）

発生した PCB 汚染対策対象土は、現場内を運搬し、北港新橋上流側の下流側封じ込め箇所に埋め戻す。なお、運搬・埋め戻し作業においては、飛散防止措置を施しながら行う。

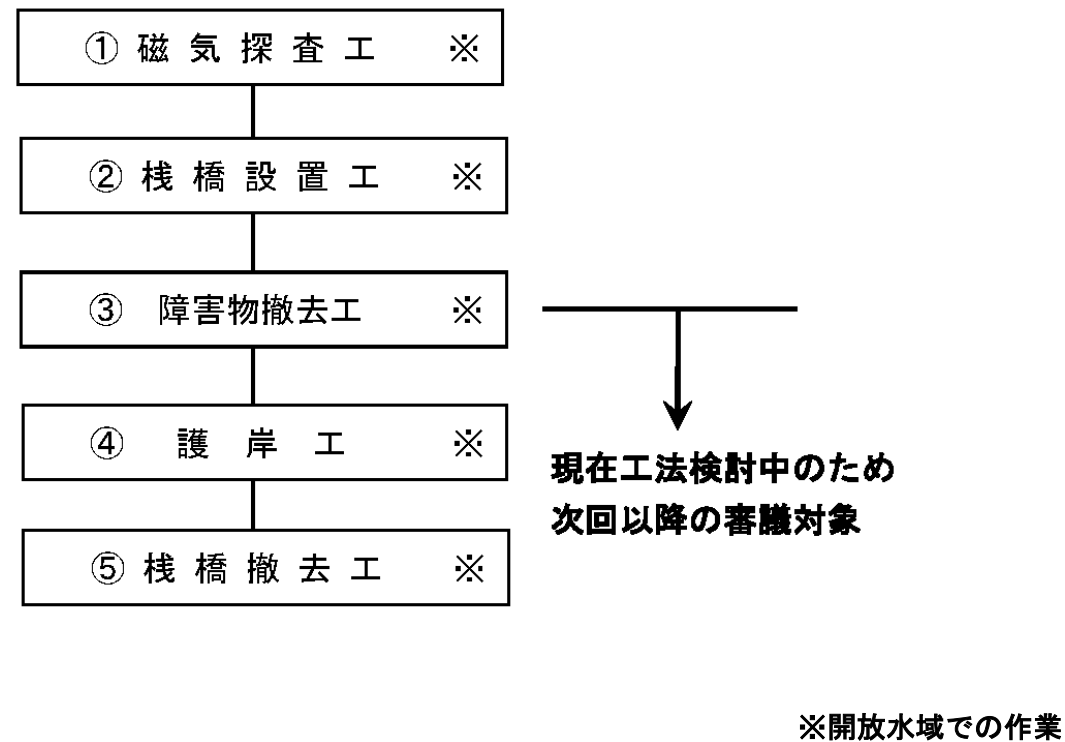
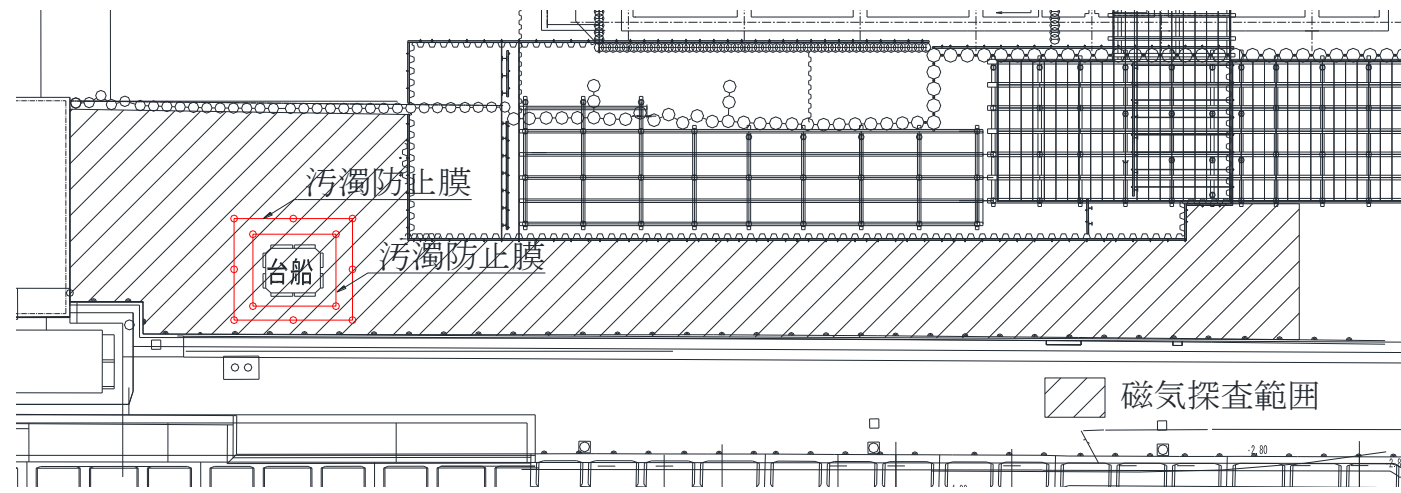


図2-2 最下流部（北港大橋下流部）施工フロー

【磁気探査工】



【棧橋設置工】

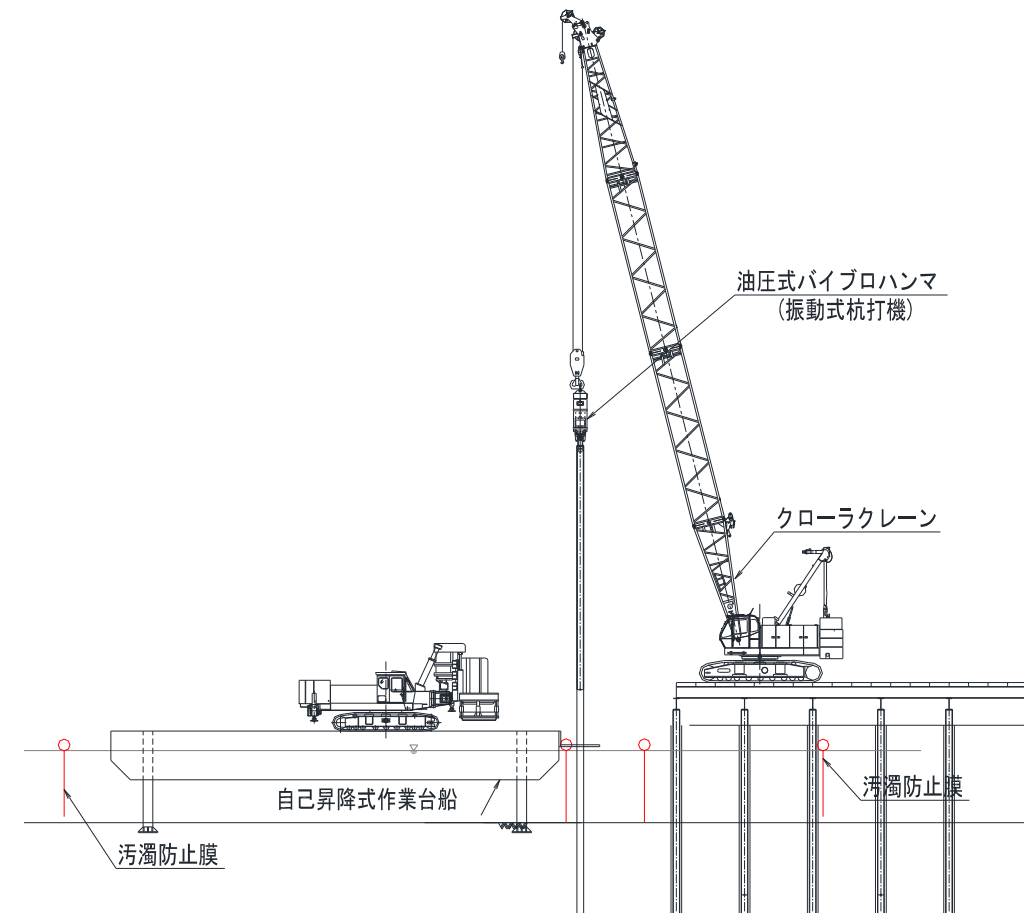
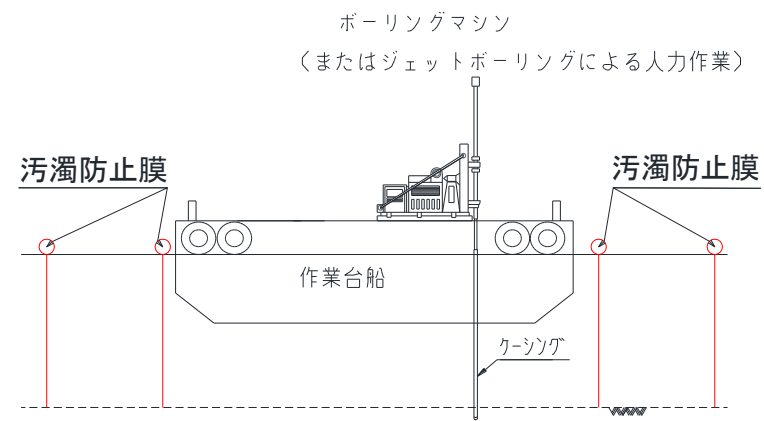
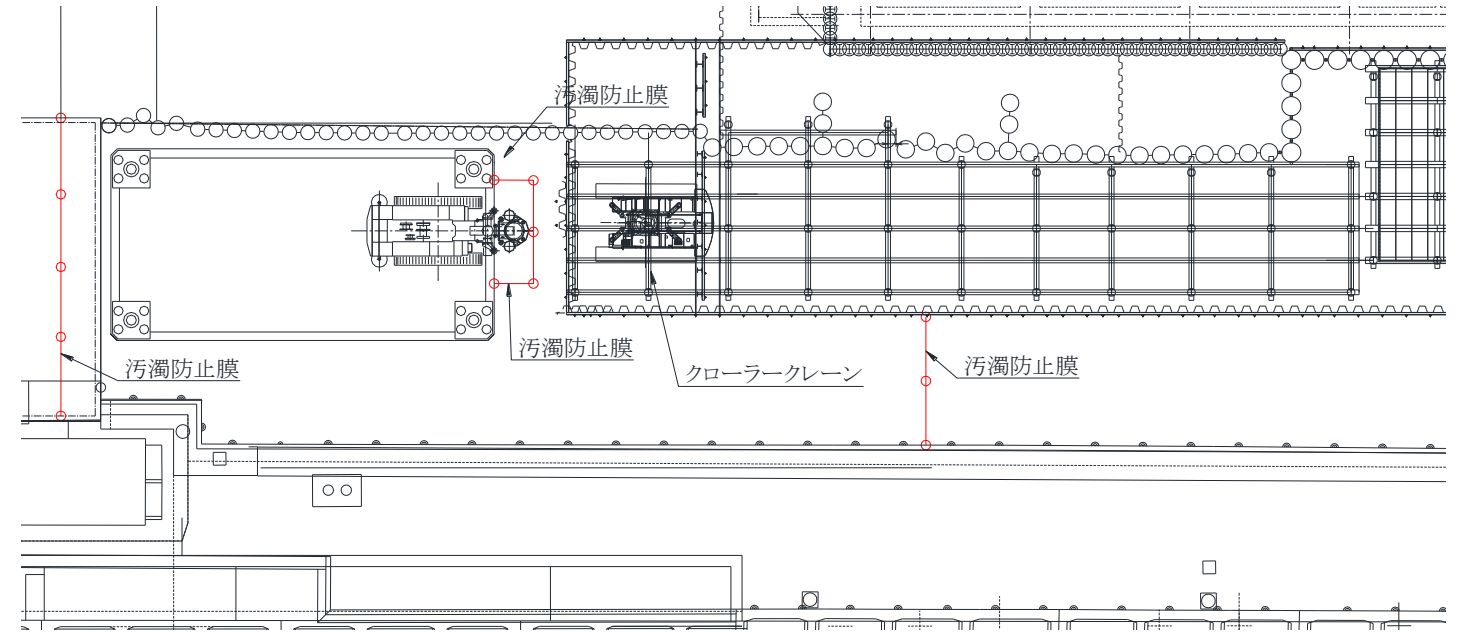


図 2 - 3 最下流部（北港大橋下流部）施工状況図

【障害物撤去工】

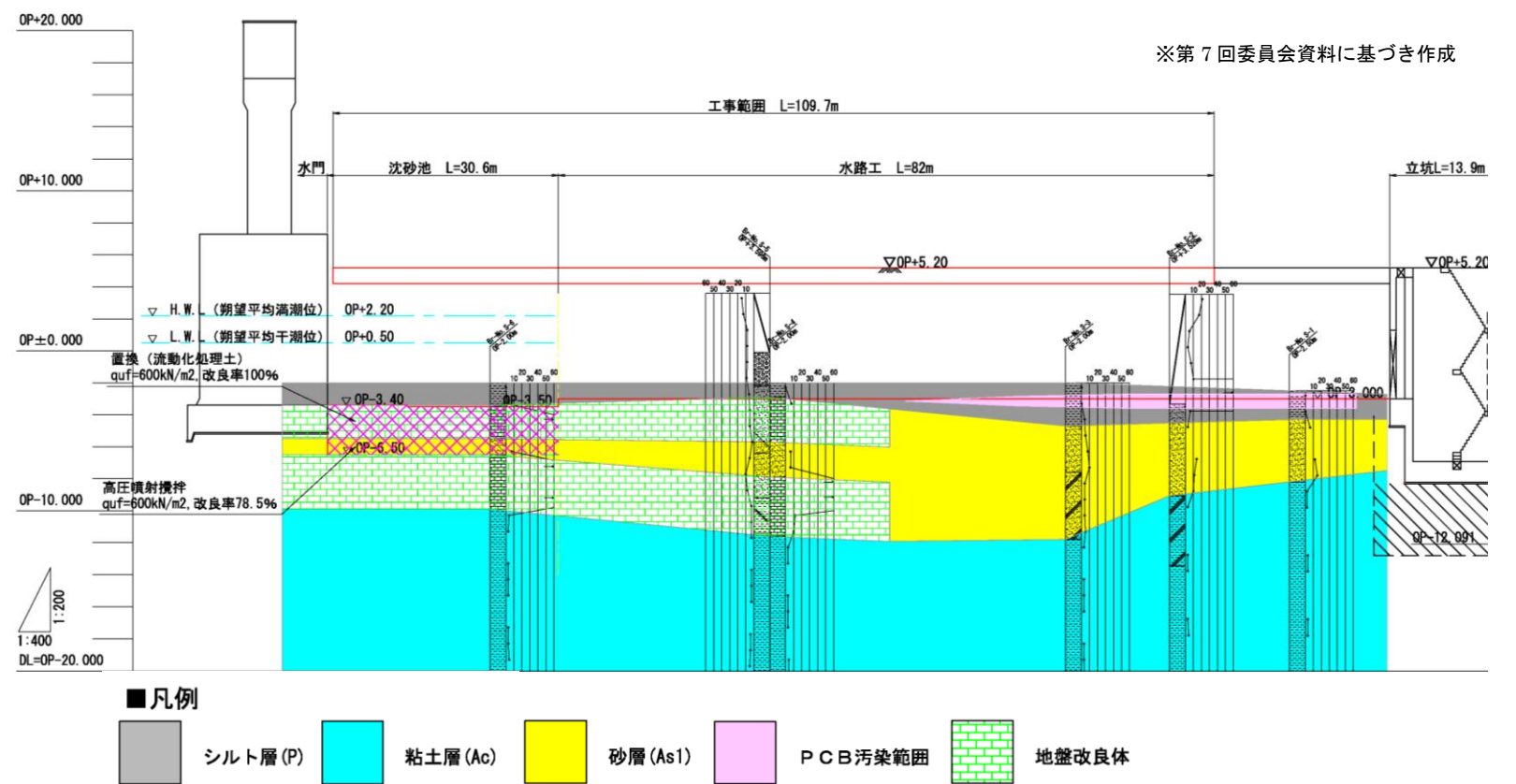
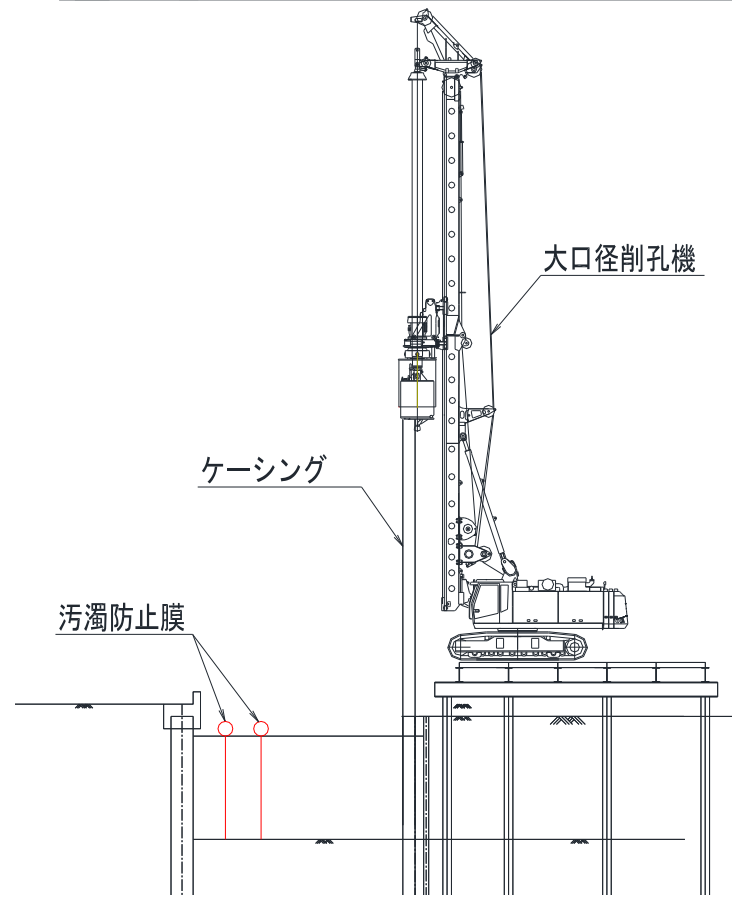
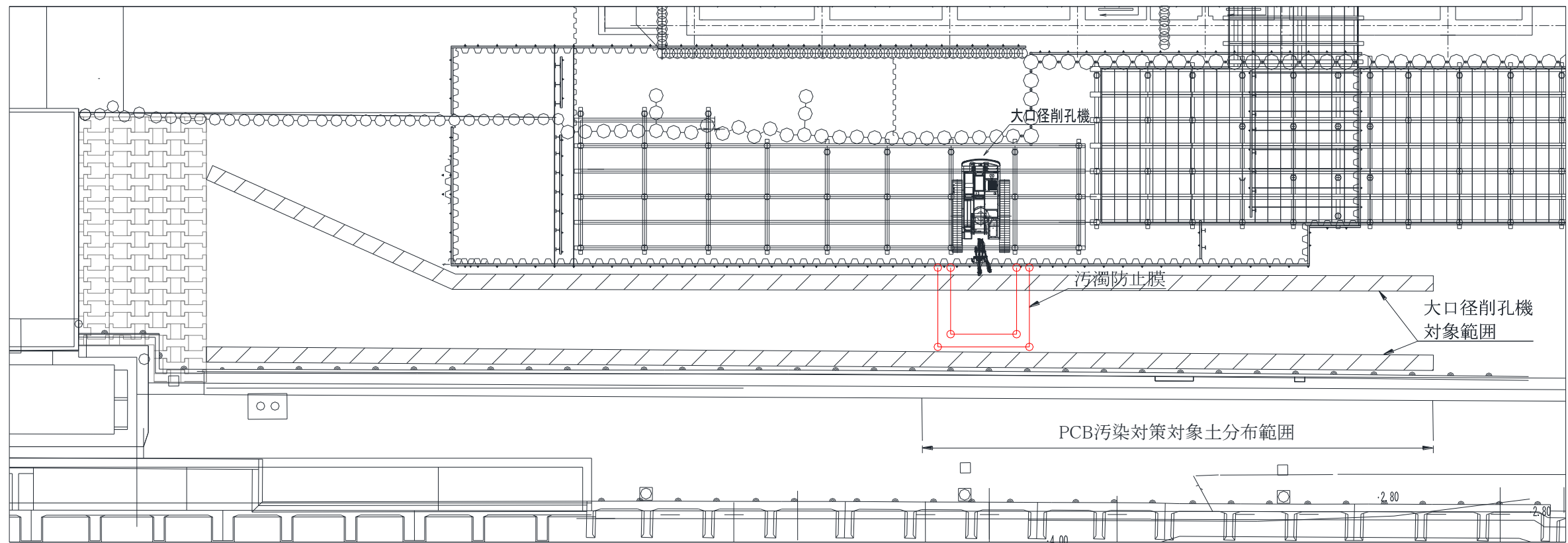


図2-4 最下流部（北港大橋下流部）施工状況図

(3) 最上流部における河川ボックス等の整備について

・磁気探査工、栈橋工および護岸工について

最上流部においては、磁気探査終了後に非出水期の仮締切を実施しながら、控え式護岸および六軒家川河川ボックスを構築したうえで埋立・盛土工事を行う。

・底質の拡散防止対策

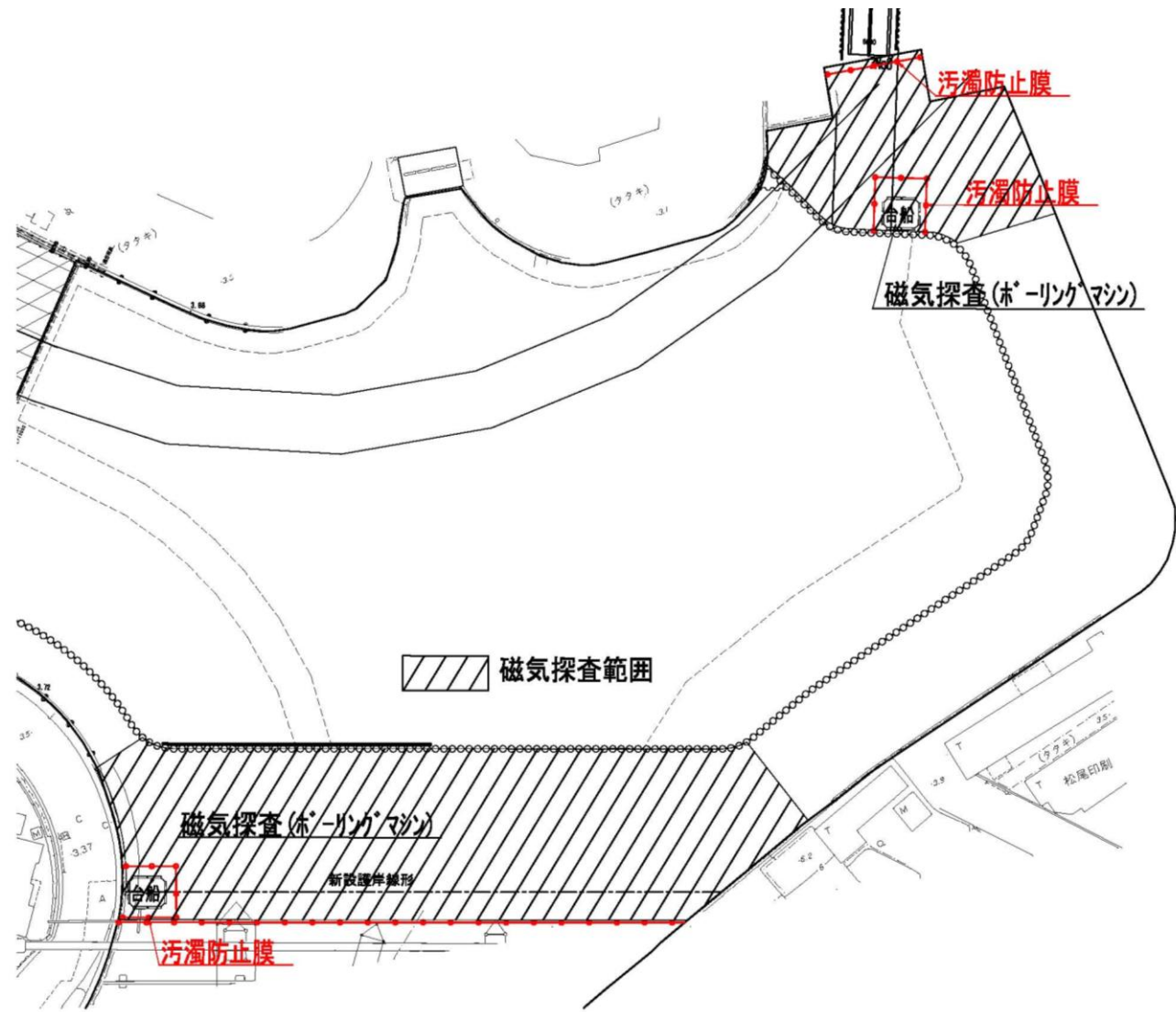
磁気探査工、栈橋支持杭および鋼矢板の打設にあたっては、これまで同様、作業箇所周りに汚濁防止膜を設置する。その際、汚濁防止膜の下端にウエイトを設置して、水面から河床面までの範囲をカバーするとともに、四方を確実に囲むことで、作業範囲内外を仕切り、底質の拡散を防止する。あわせて、作業範囲全域を囲う汚濁防止膜を設置することにより、二重の底質拡散防止対策とする（第13回環境監視委員会で承認）（図2-6、2-7、2-8参照）。



※開放水域での作業

図2-5 最上流部 施工フロー

【磁気探査工】



【棧橋工】

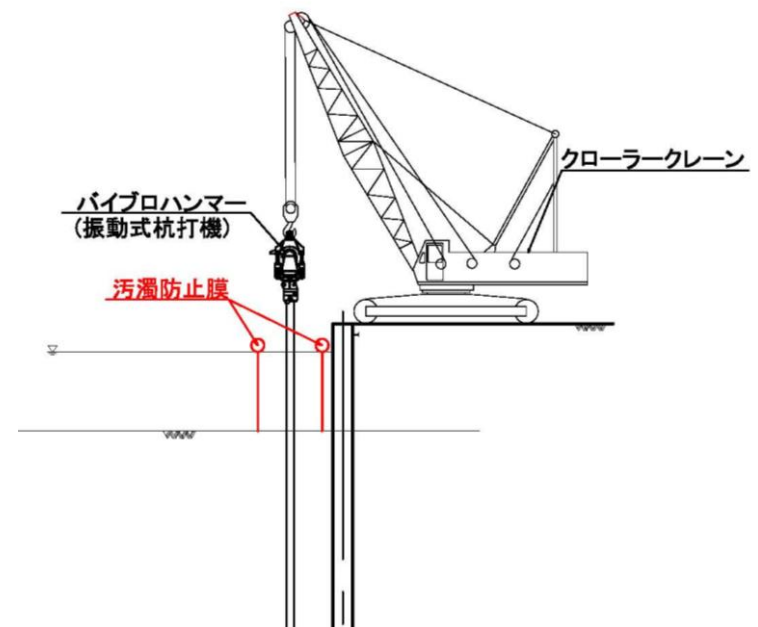
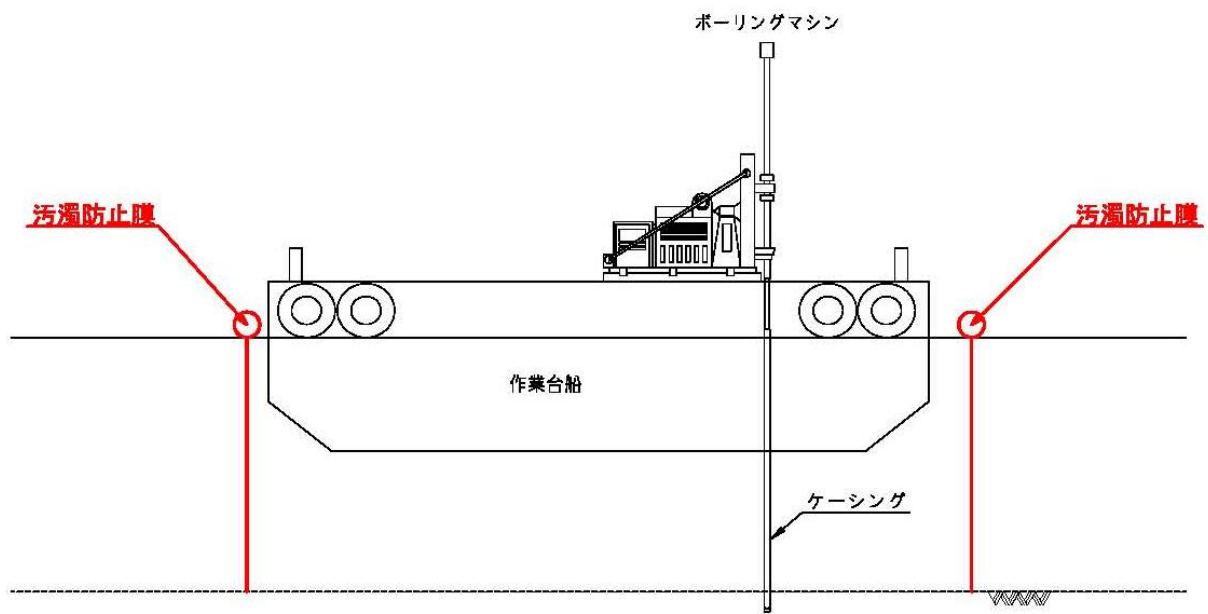
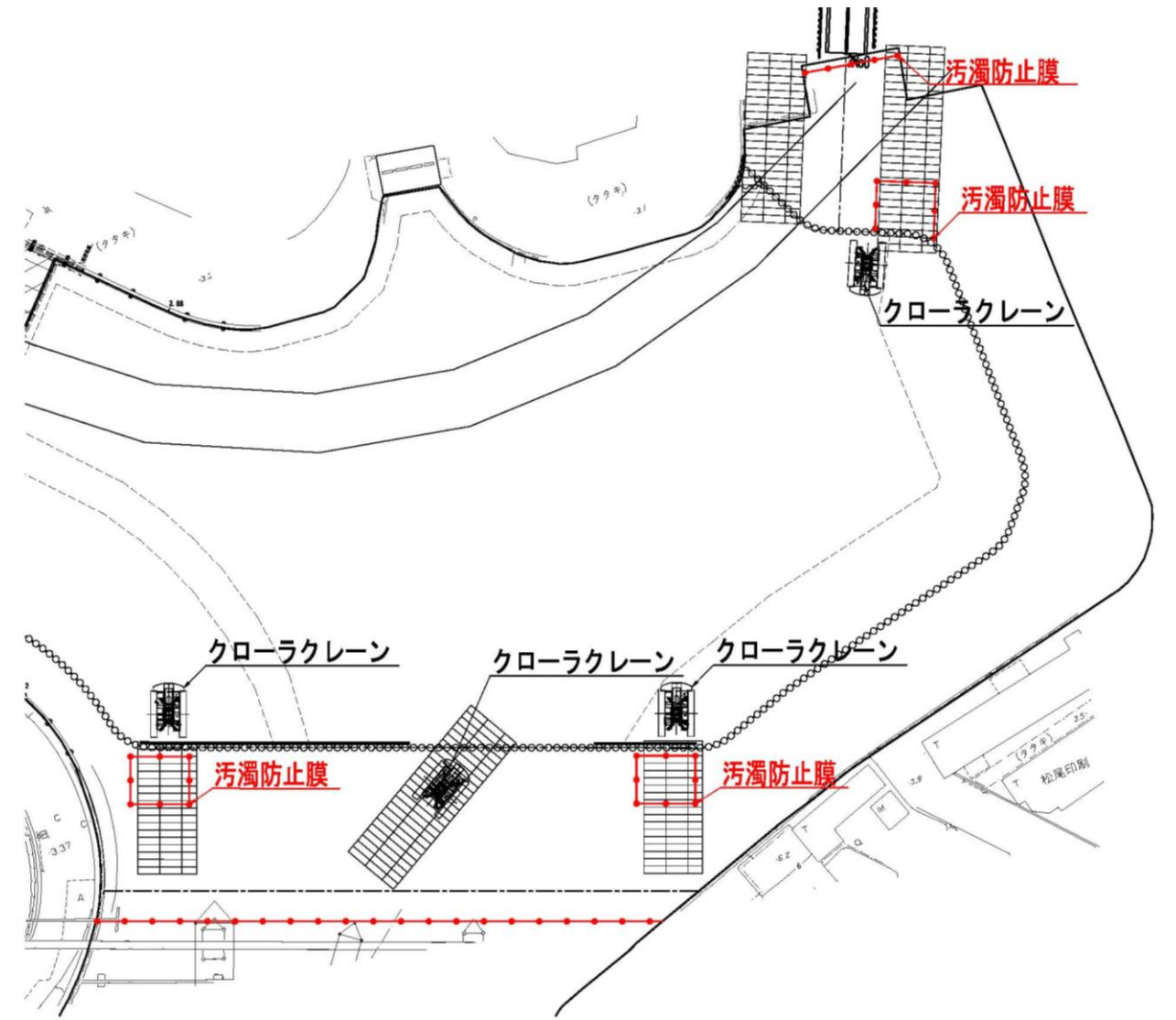


図 2-6 最上流部 施工状況図

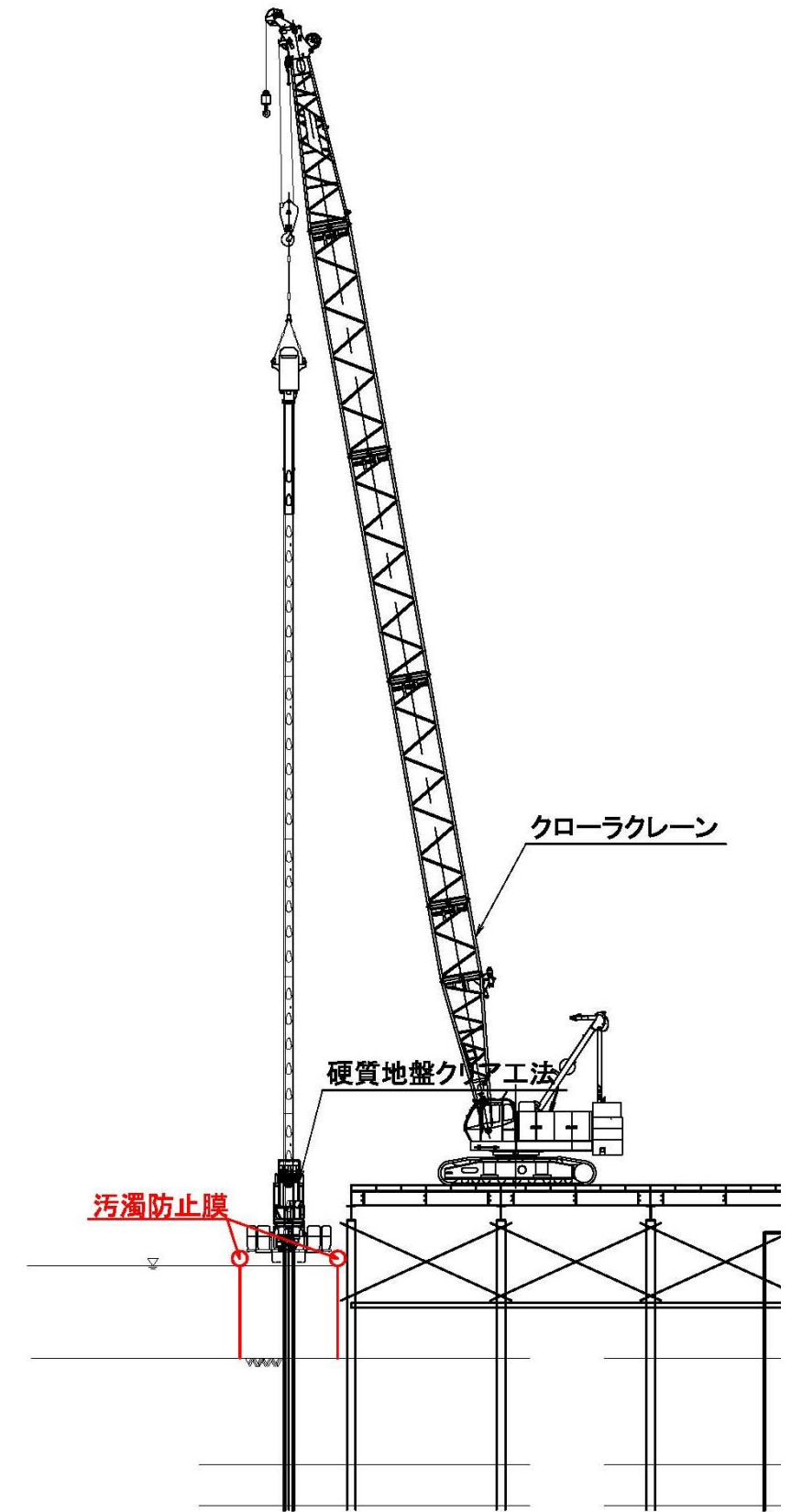
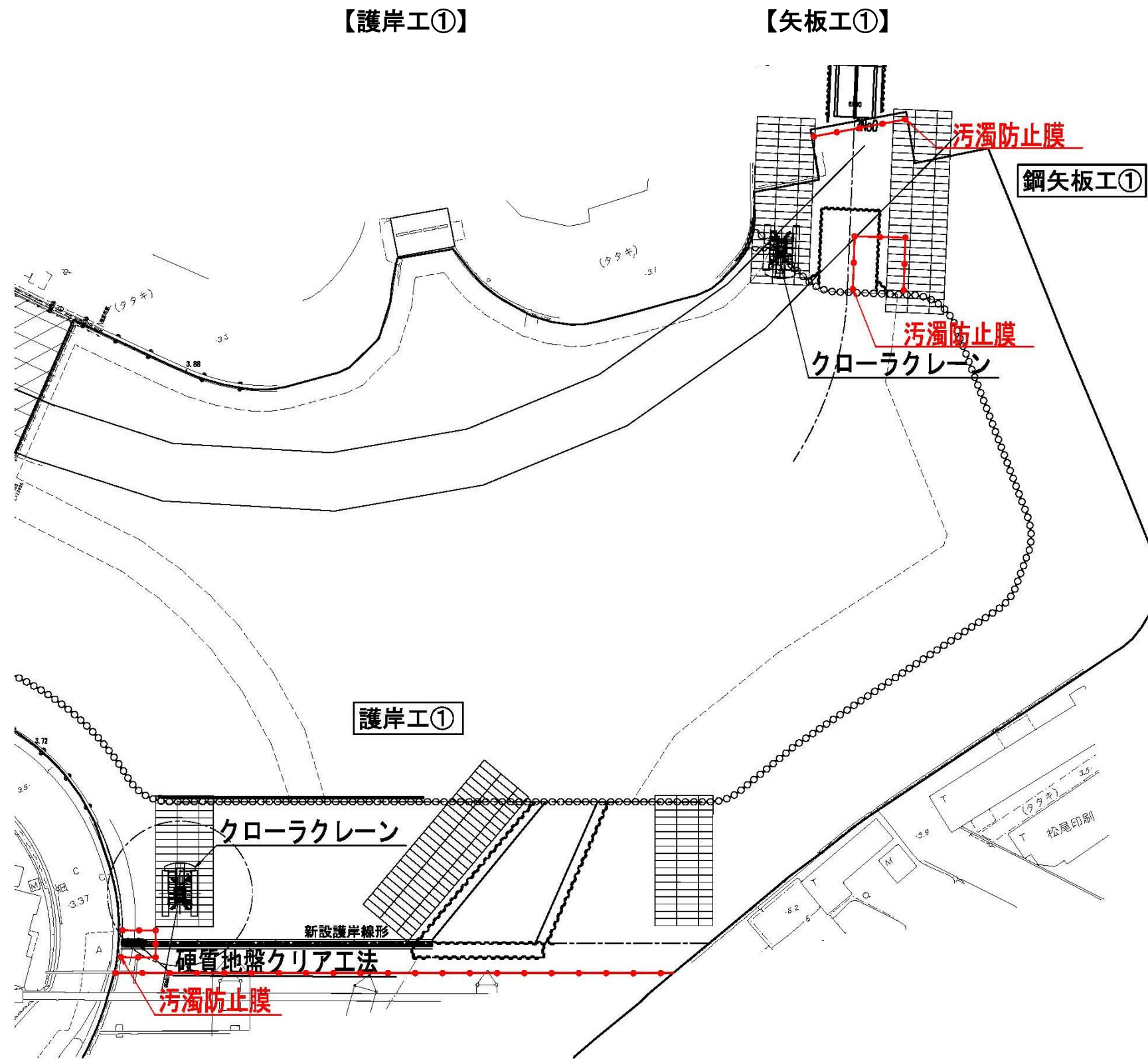


図2-7 最上流部 施工状況図

【護岸工②】

【仮締切矢板工②】

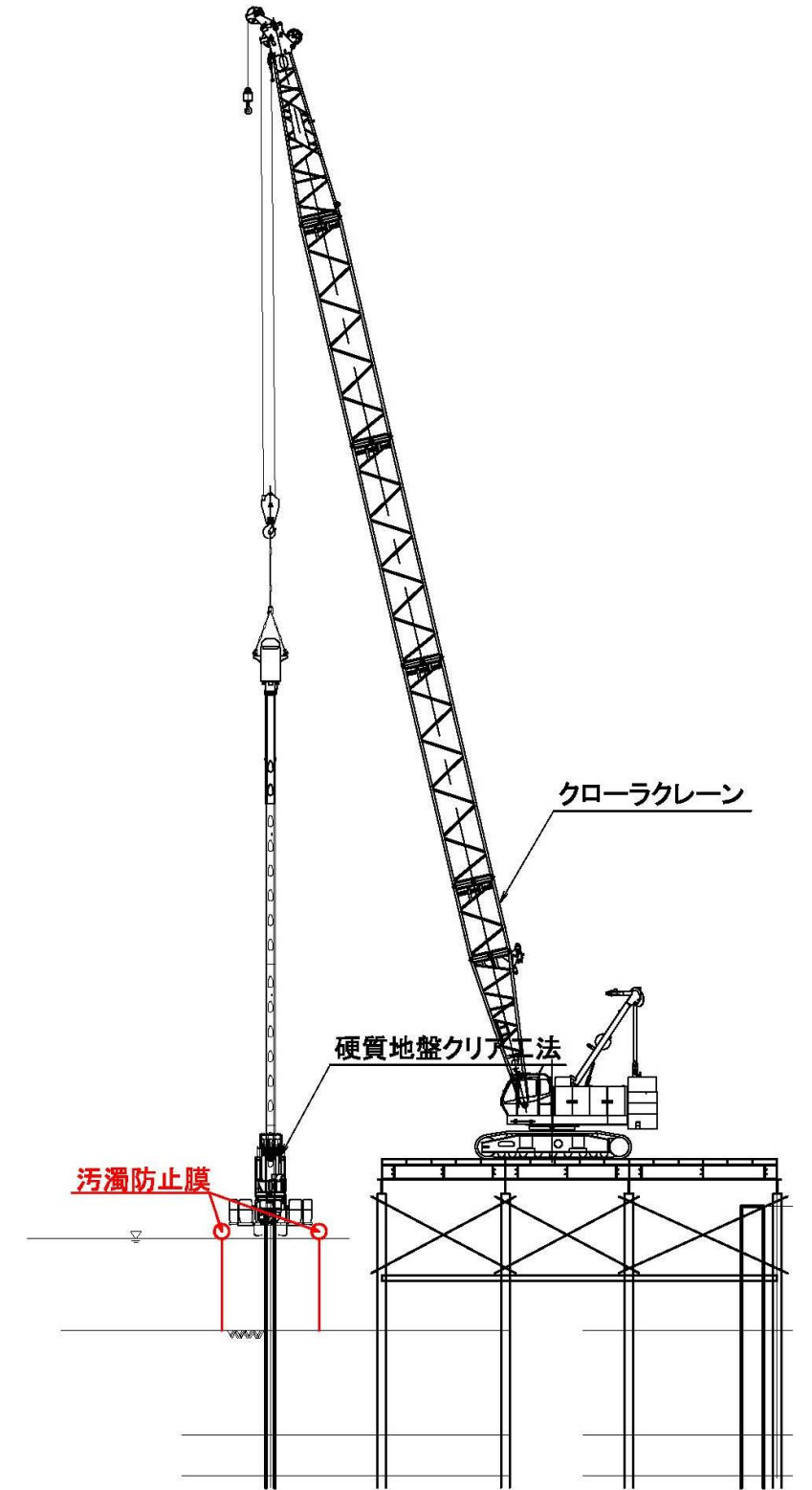
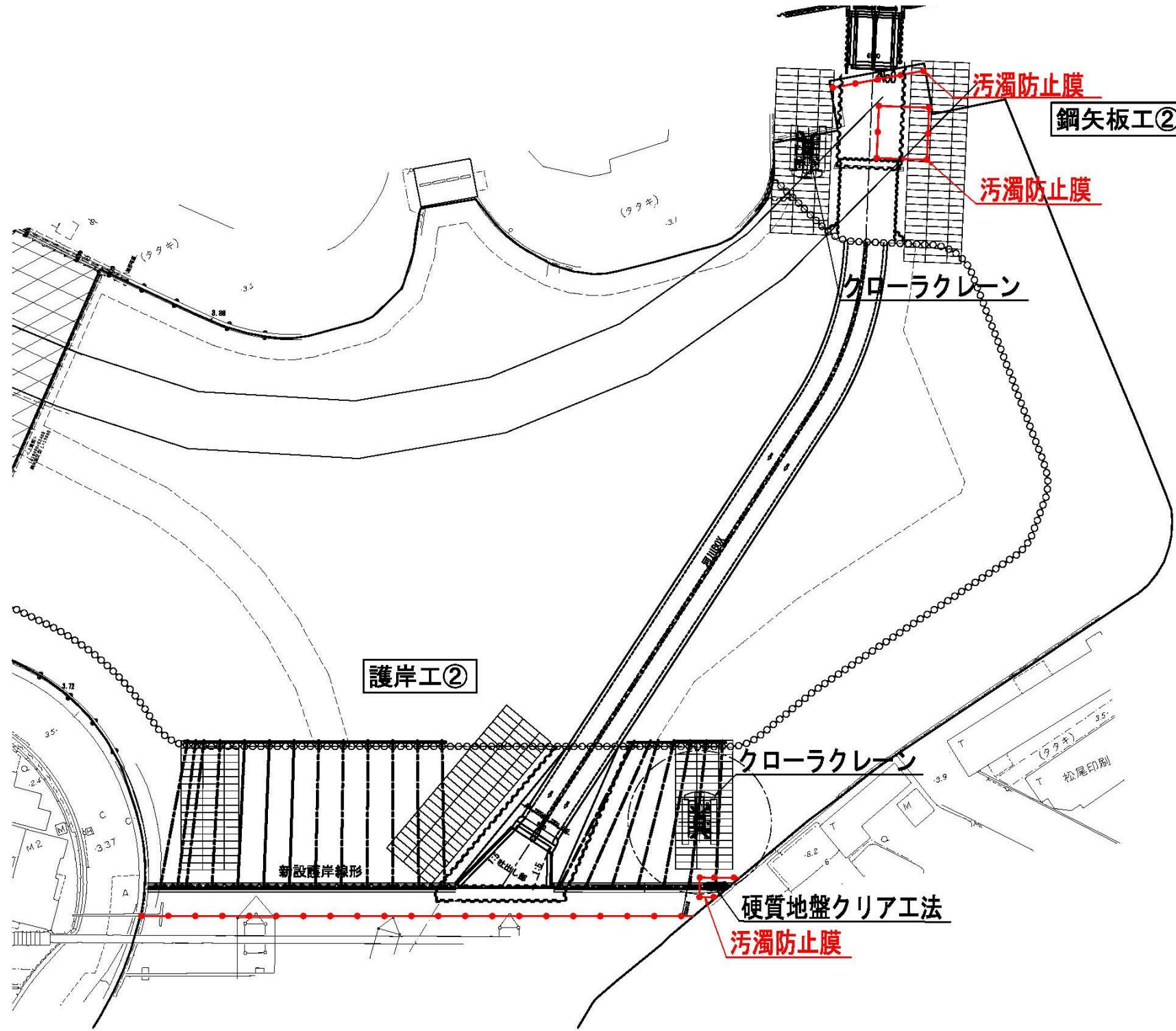


図 2 - 8 最上流部 施工状況図

(4) 施工時の管理

- ・ **高速道路本体工事施工に伴う大気質日常監視について**

粉じん・臭気の発生を伴うと考えられる工事实施日に臭気指数および粉じん濃度の測定を行い、工事管理をすることとする。なお、日常監視基準に適合しない場合は、工事との因果関係の有無を確認するとともに、必要な場合は措置を講じるものとする。

(第15回環境監視委員会で承認)

- ・ **高速道路本体及び基盤整備施工に伴う排水処理について**

工事に伴って発生する水については事前に水質調査を実施し、放流先の基準を満足するように適切な処理を行った上で放流することとする。なお、放流にあたっては定期的に水質監視を実施するものとする。

(第15回環境監視委員会で承認)